



将棋盤を挟んで、黙々と次の一手を指す。将棋好きの仲間が自然に集まり、昭和55年からサークルとして活動を開始。娯楽として将棋がブームとなり、当時は40人ほどの参加者がいたそうです。

将棋は、それぞれ働きの異なる8種類、計40枚の駒をルールに従って交互に指し合い、最終的に相手の王将を詰めた方が勝ちとなります。

駒の動かし方や、禁止手の「二歩」などの基本的なルールを覚えれば、老若男女を問わず誰でも将棋を楽しむことができます。経験を積み重ね、お互いが相手の数手先を読みながら、その時の最良の一手を打ち合うことが将棋の醍醐味と言えます。

月1回のサークルでは、個人がそれ

サークル CIRCLE ZUKAN 鑑

第52回

将棋サークル

『多古町将棋愛好会』

- ①活動歴 29年
- ②年齢層 40代～80代の男性
- ③活動場所 役場附属棟和室
- ④活動時間 毎月第2日曜日
9:00～16:00
- ⑤代表者 五木田 勇(ごきたいさむ)
- ⑥連絡先 ☎76-4405

ぞれ5回ずつ対局。勝ちの多い方から順位を決めますが、順位に応じて景品が当たるといって、ちょっとしたお楽しみがあります。

サークルの雰囲気は和やかですが、将棋盤に向かう表情は真剣そのもの。「パチン、パチン」と将棋を指す音が心地よく響き渡ります。

毎年9月には、多古中学校の文化クラブへも参加。将棋愛好会の代表者2人が生徒たちに指導したり、共に指したりと、将棋と一緒に楽しむこともあります。

多古町にお住まいの方で「将棋を始めたい」「将棋が好きだけど相手がいらない」などと思っている方、初心者でも大歓迎ですので、ぜひ役場附属棟に遊びに来てください。



編集後記

★新年明けましておめでとうございます。今年も『広報たこ』をよろしくお願いたします★さて、皆さんにとって平成21年はどのような一年でしたでしょうか？個人的には野球のWBC優勝や、サッカーのワールドカップ出場決定など「スポーツの名場面」に数多く出会った一年でした★多古町に目を向けても、全国高校総体（インターハイ）の男子三段跳びで優勝した蛸谷竜一さん（東京学館高3年）を筆頭に、全国の舞台上活躍した高校生たちの雄姿が印象に残りました★何かと暗いニュースが続いた中、プロ・アマを問わず「記録と記憶に残る名場面」を残してくれた選手の方々に心から感謝！！

★明けましておめでとうございませう。今年も『広報たこ』とともども、よろしく願います★近ごろは一年過ぎるのがあっという間。30歳を過ぎてからは急な坂道を駆け落ちるような年を取ってきたよう。年が明け、また一つ年を取りアラフォー街道まっしぐら！！★年を取ったと感じるのは胃薬を服用するようになったこと。胃薬なんて無縁の動物だったのに。油っぽいものを食べたり、食べ過ぎたりした後は効果てきめん。おもちゃが大好き♥なわたしは、このお正月も胃薬のお世話になること間違いなし。備蓄しておくなくちゃだわ！！